

糸島漁業協同組合(福岡県糸島市)

～直売所、カキ小屋の運営を通じた地産地消と地域漁業振興～

代表者: 仲西利弘
所在地: 福岡県糸島市
構成員: 生産者(425名)、職員(35名)
活動開始年月日: 平成13年



直売所「JF糸島 志摩の四季」

取組内容

<取組内容について>

1 直売所の開設

○糸島漁協では、糸島で水揚げされる魚介類を地域の人々に届けたいという思いから、平成19年に直売所「JF糸島 志摩の四季」を設立しました。直売所では、市町村別生産量が日本一の天然マダイをはじめ、糸島を代表する水産物を販売するとともに、市場に出回らない低価格魚や未利用魚の受け皿となっており、生産者の所得向上に繋がっています。

生産者は、「JF糸島 志摩の四季」をはじめとする直売所を積極的に活用しており、直売所の売上は漁協の水揚額の約30%を占めています。

2 カキ小屋の取組

○養殖カキを漁港に設営した施設で味わうことができるカキ小屋。平成13年から始まった取組ですが、地元自治体や酒造メーカー、交通産業などと連携してPRを行い、県内外から年間26万人以上が訪れるほどに成長し、福岡県の冬の風物詩のひとつに数えられるようになりました。また、県の協力のもと、貝毒プランクトンのモニタリングやノロウィルス検査を定期的に行うなど、養殖カキの安全性確保にも努めています。さらに、廃棄されるカキ殻をJA糸島と連携し、土壌改良材として有効活用するなど環境に配慮した取組も行っています。



糸島の海や漁業のことを子供たちに！



直売所の糸島産水産物

<これまでの取組内容(つづき)>

3 学校給食への食材提供、料理教室の開催

○子供たちに地元の魚介類のこともっと知ってもらおうと学校給食にノリ、ワカメ、すり身などを提供するとともに、漁協女性部が中心となって糸島市内の小学校等で年間4回料理教室を開催するなど活動の範囲を拡げています。



多くのお客さんで賑わうカキ小屋



カキ小屋で焼きカキを楽しむお客さん

最近の取組

<最近の取組について>

- ①26年6月に直売所「JF糸島 志摩の四季」が福岡市内百貨店の催事に出展し、地産地消の取組をPRしました。
- ②25年から市や旅行会社と連携し、カキ小屋観光バスツアーを企画。毎回、満席となっており、自家用車などの移動手段がなく、これまでカキ小屋に行けなかった利用者などにとっても好評です。
- ③これまで直売所の利用者には、冬場の寒い中、長時間カキ小屋の外で並んで待っていたため、25年度からカキ小屋の大型化を図り、待ち時間縮減にも取り組んでいます。
- ④郵便局と連携し、糸島カキの注文チラシを九州管内郵便局に配置するなど、宅配にも力を入れています。

糸島漁業協同組合

- 所在地 福岡県糸島市志摩岐志778-5
- TEL 092-328-2311
- URL <http://www.jf-net.ne.jp/foitoshima/>



百貨店での地産地消の取組PR